

WORKSHOP

—さまざまな分野のワークショップ—

連続講座開催の主旨

Lawrence Halprin, Jim Burns が“Taking part”を著し、まちづくりや芸術・教育分野へワークショップ手法を取り入れることを示したのが1974年、その後、我々の先達が日本建築学会 関東支部 農村建築専門委員会等において、農村計画におけるワークショップを研究・実践し、現在の住民参加の礎を築いた。“Taking part”から約40年、Halprin が生活・芸術・環境・教育・コミュニティの観点から論じたワークショップは、現在どのように社会に根付いているのか、各分野で活躍する講師がどのようなワークショップ等を実践しているのか、参加者ととともに考える連続講座を開催します。

(参考: Taking part の翻訳書) 集団による創造性の開発/プレック研究所 編集・杉尾伸太郎・杉尾邦江 訳、牧野出版 1989

連続講座 第4回のご案内

第4回連続講座では、「農村計画とワークショップ」について考える。今回は、これまでに行った3回の連続講座を振り返った後に、農村の生活基盤・生産基盤整備の視点から本委員会委員の北澤 大佑(地域環境資源センター)が、農業農村整備事業における住民参加の取組みについて話題提供を行う。さらに、ワークショップ全体を振り返る視点から本委員会委員の藤沢 直樹(日本大学 生物資源科学部)が話題提供を行います。

- 【主催】日本建築学会 関東支部 農村建築専門研究委員会
 - 【日時・会場】2014年11月8日(土) 14:00~ 建築会館 会議室(定員40名)
 - 【参加費】日本建築学会会員1500円 学生1000円 一般2000円
- 申込みは、[日本建築学会関東支部HP](#)より

【2014】平成26年5月・7月・9月・11月に連続講座を開催

- 5月10日:【アート系ワークショップ】 江古田ユニバース
 - 【環境教育ワークショップ】 黒田 貴綱(日本大学生物資源科学部 富士自然教育センター)
 - 7月12日:【ワールドカフェ】 高橋 靖典(トランジション藤野)
 - 【まちづくりワークショップ】 山口 忠志(練馬まちづくりセンター)■
 - 9月20日:【自立支援・家づくりワークショップ】 特定非営利活動法人 Habitat for Humanity・Japan
 - 【建築設計の視点から】 根来 宏典(根来宏典建築研究所)■ / 金井良浩(柏井建設)■
 - 11月8日:【農村計画とワークショップ】 北澤 大佑(地域環境資源センター)■/藤沢 直樹(日本大学 生物資源科学部)■
- (■) 日本建築学会 関東支部 農村建築専門研究委員会 委員

連続企画で得た住民参加手法に関する知見を整理し、現在及びこれからの農村計画に求められる住民参加について、各分野の専門家(ここまでの講演者)・参加者によるシンポジウムを行う。

【2015】平成27年3月 シンポジウム開催